

<週報No. 2,909> 3,020 回例会

2020年1月17日(金)

■会長／玉本 広人 ■幹事／山田 文雄

◆司会＝飯田兼光副SAA

◆ゲストビジター＝本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本日	68.75%	15名欠席
前回訂正	85.11%	8名欠席

◆ラッキーナンバー＝No.21 早出由男君

◆ニコニコボックス＝●玉本広人君・山田文雄君＝本日はIM実行委員会担当のクラブフォーラムです。宜しくお願いします。●小口武男君・河西正一君＝本日はIM実行委員会の担当例会です。宜しくお願いします。●山田文雄君＝記念日のお花をありがとうございました。●岩波寿亮君＝結婚祝いのお花をいただきました。●梶川昌二君＝久しぶりの例会です。今年もよろしくお願ひ致します。●小島拓也君＝長期欠席すみません。●早出由男君＝ラッキーNoにあたって。

◆会長告知・玉本広人会長＝皆さん、こんにちは。

この冬は年が明けてからもなかなか冷え込む日がありません。八剱神社では1月6日から早朝の観測を始めていますが、薄氷も張らないような状態で、今年は御神渡りは難しそうですね。

先週は、今年の干支のお話をさせていただきましたが、その中で関西師友協会の河西善三郎氏のお名前を紹介しました。関西師友協会は、以前小口武男さんが会長の時に会長告知のテーマとしてお話しされていた安岡正篤(やすおか まさひろ)先生の教えに学び、自から教養を養い人間性を高め、日本を明るくする活動をする会という事で、河西善三郎氏はその事務局長をしていた方です。

詳しいプロフィールがわからないのですが、安岡正篤(まさひろ)の「人間学講和 干支の活学」という本では、昭和38年の癸卯(みずのと・う)から昭和55年の庚申(かのえ・さる)まではその意味の解説として安岡正篤の講義録が掲載されていますが、昭和56年辛酉(かのと・とり)から平成8年丙子(ひのえ・ね)まで河西氏が執筆しています。また「漢字に学ぶ―その成り立ち、その面白味」という本も執筆されていますので、漢字研

究の第一人者なのではと推測しております。

先週の庚子(かのえ・ね)の話も「干支の活学」という本からの抜粋を中心にさせていただきました。その本のなかで、安岡先生は干支についてこう説明しています。本来の干支は占いではなく、易の俗語でもない。それは、生命あるいはエネルギーの発生・成長・収蔵の循環過程を分類・約説した経験哲学ともいべきものである。即ち「干」の方は、もっぱら生命・エネルギーの内外対応の原理、つまり challenge に対する response の原理を十種類に分類したものであり、「支」の方は、生命・細胞の分裂から次第に生体を組織・構成して成長し、やがて老衰して、ご破算になって、また元の細胞・核に還る。これを十二の範疇に分けたものである。干支は、この干と支を組み合わせてできる六十の範疇に従って、時局の意義ならびに、これに対処する自覚や覚悟というものを、幾千年の歴史と体験に徴して帰納的に解明・啓示したものである。とのこと。

現在では十干の方はあまり言われず、十二支のほうがメジャーになっていますが、元来十二支にあてられている動物は干支本来の字とは何の関係もなく、干支が普及するにつれてその字の意味を分かりやすくイメージできるようにいつとなくできあがったものだそうです。昔の人が誰でも、生活の中で生命力あふれ盛んに増えていく発展性を感じる身近な存在といえば、各々の家に住んでいる鼠でしょう。そこで「子」に鼠をあてはめたようです。干支の話はなかなか興味深いものがありますので、何回かに分けてお話をさせていただければと思います。

◆幹事報告・山田文雄幹事＝1月10日の理事会は定足数を満たさず成立しませんでした。幸い審議事項はありませんでした。非公式ですが参加メンバーにて会員増強の件、小口会員から提案のあった細則6条の変更の検討スケジュールの件が話し合われました。本日は、IM実行委員会担当のクラブフォーラムです。3月7日に向けていよいよ追い込みの時期になりますので、皆様には所属部会を通じてご協力のほど宜しくお願いします。今回は金子市長による年頭所感です。ご期待ください。

◆クラブフォーラム・IMについて

●IM実行部会 八幡一成事務局長＝本日、司会を担当させていただきます。本日の内容として、小口ガバナール補佐、河西実行委員長からIM全般のお話をさせていただいた後、会員セミナーと講演会の講師のご紹介をいただき、各部会の代表者からこれまでの活動内容と現在

の準備状況を報告いただきます。最後に、私からプログラム全般と予算についてご説明しますのでよろしくお願ひします。

●小口武男ガバナー補佐＝今日はロータリーの例会の貴重なお時間をいただき、大変ありがとうございます。私からはIMとはどういったものかをご説明いたします。

「ロータリーの基礎」という本があり、IMはその中に、都市連合会、インターシティミーティングと書かれており、以下の記載があります。「近隣都市、数クラブが集まって開かれるロータリーの会合です。五大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討します。全員参加のこの会の目的は、会員相互の親睦と知識を広めることであって、会員にロータリーの情報を伝え、奉仕理念を勉強するために開催されます。決定や決議ではありません。IMへの出席はメーキャップになります。」

IMはガバナー補佐が属するクラブが開催することになっており、諏訪グループでは7クラブあるので、7年に1回担当が回ってくることになります。昨年は諏訪大社クラブが担当し、大豆生田先生が講演され、また各クラブの青少年関係の取り組み、懇親会では箱田家の家族による演奏が行われ、大変素晴らしい会でありました。前回の諏訪RC担当のIMは山崎さんがガバナー補佐をされていましたが、「子供たちに明るい未来を、いじめ0に向けて」というテーマで、富士見高校の伏見先生が講演をされ、パネルディスカッションでは内田良子さん、小池みはるさん、伏見先生、コーディネーターを伴在さんが担当され、行われました。懇親会では、各クラブ自慢の一芸を披露されました。皆さんのお手元に今回のプログラムがありますが、諏訪RCを挙げて成功させたいと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願ひします。

●河西正一IM実行委員長＝まだ先だと思っていましたが、開催日まであと2ヶ月を切り、細かいところを詰めていく段階になりました。今回の題目は、「輝くロータリーライフをつくるために」です。これまでの検討状況をご紹介します。

3月に初めて準備会を作りました。小口ガバナー補佐、会長、幹事、事務局にて副実行委員長、部会長、副部会長等の候補者を選び、その後皆様に承認いただきました。6月には第1回のIM実行委員会を開き、内容を検討し

ました。その後、実行委員会を3回、各部会の会合を経て今日に至ります。今まで実行委員会等で検討した中で、今回は親睦に力を入れ、楽しいIMにしたい、という思いや意見が出されました。これまでの会とは異なり、今回は準備等は諏訪RCで完結し、他のクラブは楽しんでいただく、心が重たくなならないよう、楽しんで懇親会に参加していただく、という主旨で内容を決めていきました。その結果、会員セミナーと講演会の2部構成とし、会員セミナーは高野孫左エ門氏による「ロータリー・変化への対応」という演目で後ほど三井会員から高野さんのご紹介をいただけたと思います。講演会は鳥羽研二先生による「ウィズ・エイジング 何歳になっても光輝くために」という題目です。年をとることは素晴らしいことだという内容でお話をしていただく予定です。



続けて鳥羽研二さんの紹介をさせていただきます。昭和26年生まれで今年で69歳になられます。もともと松本市の出身ですがお父様が岡谷病院の医長として来られたそうです。高校は諏訪清陵高校卒で、北川先生とは同級生だそうで、ご紹介いただきました。東京大学医学部助教授を経て、杏林大学医学部高齢医学主任教授ということでその後、名古屋の国立長寿医療研究センターの理事長、現在は地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの理事長をされております。先日、小口ガバナー補佐、北川先生と私の3人でご挨拶に訪問したところ、大変気さくな方で、病院を案内していただきました。規模は約500床、研究員が50名という大きな病院でした。今回の題目は、鳥羽先生の著書のタイトルをそのまま使わせていただきました。本には、老化は悪ではない、自然な死は敗北ではない、と書かれています。アンチエ

イジングという年をとることが悪いことにとらえがちだが、人間は年をとらないわけにはいかない、楽しんで前向きに年をとることが大事、との内容です。お酒の席を一緒にしましたが、その時にタバコを吸われており、「長生きするというより生活を楽しむためにタバコを吸っている」とのことで、大変気さくな先生で面白いお話が聞けると思います。

三井さん、北川先生と一緒に高野さんのところにも伺い、いろいろなお話をさせていただいた中で、高野さんから自分の商売のお話もしてよいかと打診され、ぜひお願いします、とお答えしました。こちらも、大変期待しております。IMは皆様全員のお力を借りしなければならないと思いますので、よろしくお願いします。

●三井章義会員＝私からは5分ほど、高野孫左エ門氏のご紹介をします。高野孫左エ門氏は甲府の方で、2012～2013年にRI2620地区（山梨、静岡）のガバナーをされました。1956年（昭和31年）生まれで64歳で高野家第18代の当主です。2018年度国際ロータリー研修リーダーも務められています。この研修は次期ガバナーを対象とした研修であり、この研修リーダーですので、大変優秀な方です。米山記念奨学会広報委員もされております。お仕事は株式会社吉字屋（ガソリンスタンド）、山梨トヨペットの社長です。

お父上は第17代高野孫左エ門という方で、大変立派な方でした。略歴としては1982～1983年にRI2620地区ガバナー、1983～1988年に米山記念奨学会の理事、1989～1991年に米山記念奨学会の常務理事、1992～2004年に米山記念奨学会の副理事長を務められました。

高野家についてもご紹介します。先祖は武田信玄の代に、越後から塩を移入した塩屋孫左エ門という人物です。永禄11年（1568年）に松本経由で甲府へ塩を運びました。その功により信玄公より甲州金に刻印されていた「吉」の字を屋号とすることを許され、「吉字屋」が誕生しました。以来、450年以上続いています。今も塩業を継続しています。江戸時代に入ると、「燈火油」の販売を始めました。明治維新後、英国から日本に初めて石油が輸入されたのを機に石油を取り扱い始めました。ランプ燃料からモーターゼーションにより自動車燃料になりました。山梨県全域にガソリンスタンドのネットワークがあり、その数は約20店舗あり、大変繁栄している企業です。

諏訪との縁についても紹介します。諏訪RC第9代会長

岩波寛さんは、今回の孫左エ門さんの母方の祖父にあたります。つまり、第17代孫左エ門さんの奥様は、寛さんの娘です。岩波寛さんは、下諏訪本陣岩波家の分家で岩波石炭社長をされた方です。私も、今回の孫左エ門さんのお父上も親しくさせていただいた方です。諏訪とは非常に深い関係の方に来てお話をさせていただけるという事で嬉しいことです。

●IM実行部会（式典部会） 小針哲郎副部長＝式典部会は、朝倉副実行委員長、岩波部会長のもと、準備を進めています。現在、会場となるホテル紅や様と、ステージ、看板、会場のレイアウト等の打ち合わせを行いました。式典部会はプログラムに沿った本会議のパート、つまりセレモニー、会員セミナー、講演会の準備をしています。今後、席の確保、席順等について、参加者が固まり次第、詳細を決めていく予定です。

●小平直史IM実行副委員長（懇親会担当）＝11月に懇親会部会を開き、詳細を決めました。友愛の広場と懇親会の2つを担当します。友愛の広場は、前回と同様ですが、ルビーホールのスペースにドリンクコーナー等を設けて、諏訪RCの皆様にはご接待をお願いしたいと思います。懇親会は、丸型のテーブルに着席です。席次は来賓、各クラブの会長様は指定席、その他はくじ引きで決める予定です。約150名ほどを想定しています。料理は、先付け（お通し）は個人ごと、その他はテーブルごとの盛り込み料理とします。アトラクションはなしとし、BGMを流し、会員同士の親睦を深めたいと思います。懇親会を楽しい会にしたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

●竹上幸浩IM実行副委員長（総務担当）＝総務部会は、小口泰幸部会長と飯田兼光副部長にしっかりとやっていただいています。まず、A4版のパンフレットを作成しました。なお、配布についてはガバナー事務局の担当となりました。また、今後、A3版の折たたみ型のパンフレットの作成が必要ですが、小口部会長にて進めてもらっており、予定通りの進捗です。当日の受付は8名の部員にもご協力いただく予定です。また当日の記録についても皆様のご協力をいただきたいと思います。

●IM実行部会 八幡一成事務局長＝プログラム全般と予算について、事務局からご説明します。プログラムは、小口ガバナー補佐と河西実行委員長の思いが込められた内容になっております。登録受付が12:30から、本会議の点鐘が13:00です。出番のある方は、予めご確認

ください。ご来賓は、諏訪市長の金子ゆかり様をお呼びする予定です。また、ロータリー関係の招待者ですが、第2600地区の古川静男ガバナーを招待したいと思います。お二人からご挨拶をいただく予定です。

会員セミナーは、13:30から、先ほど三井会員からご紹介のあった高野孫左エ門氏による「ロータリー・変化への対応」という演題で1時間10分、お話しいただきます。その後、休憩時間を20分間設け、友愛の広場にてご歓談いただきます。15:00からの講演会は、鳥羽研二講師による演題「ウィズ・エイジング 何歳になっても光輝くために」です。時間は1時間30分です。講演会は一般公開ですので知人、ご家族等にお声かけください。懇親会は16:45からです。最初の次期ガバナー補佐・次期ホストクラブ紹介、次期ガバナー補佐挨拶、次期ホストクラブ挨拶については、毎回のIM懇親会と同様です。次のガバナーノミニーについては、昨年の10月の地区大会にて茅野ロータリークラブ会長の桑澤一郎様がガバナーノミニーに指名されましたので、ここで桑澤一郎様にご挨拶いただきます。今年、諏訪RCがホストなので、諏訪ローターアクトクラブの紹介を予定しています。小口ガバナー補佐よりご紹介いただき、予定が合えば諏訪ローターアクトクラブ会長のご挨拶もいただきたいと思います。その後、乾杯と歓談となり、18:30に終了予定です。

次に予算案ですが、「2012年～13年度決算額」「2019～20年度予算額A」「2019～20年度予算額B」の3項目を記載しています。予算案は2つで、A案が登録料が1名6000円、B案は1名6500円です。結論としてA案したいと思います。収入については、第2600地区の10万円の補助と会員290名の登録料を合わせ、合計184万円です。支出については、現段階では約14万円のマイナスになっておりますが、今後の検討にて収入の範囲内に収めていきたいと思っております。

◆今後の例会日程

1月24日	金	クラブフォーラム（年頭所感 諏訪市市長）
1月31日	金	クラブフォーラム（職場訪問例会『タケヤ味噌』）
2月7日	金	クラブフォーラム（平和と紛争予防/紛争解決月間）